

[研究名]

腫瘍崩壊症候群の発症予防及び治療にラスブリカーゼの低用量投与がもたらす影響を後方視的に
調査研究

[研究責任者]

香川県立中央病院 薬剤部 薬剤部長 中筋 美保

[研究の対象・方法]

2009年10月から2024年6月までに腫瘍崩壊症候群の発症予防及び治療にラスブリカーゼを投与された患者さんについて、ラスブリカーゼの低用量で尿酸値をコントロールできる要因を調査します。

治療成績等を検討することは、今後の治療向上に寄与します。

なお、患者さんの個人情報が増えることはありませんが、研究そのもののデータとして使用を拒否される場合は、下記までご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒760-8557 高松市朝日町1-2-1

香川県立中央病院

電話 087-811-3333 (代表)